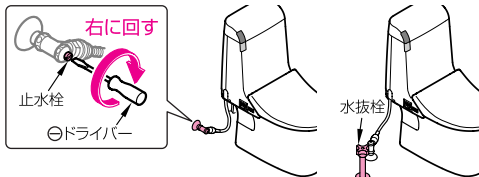


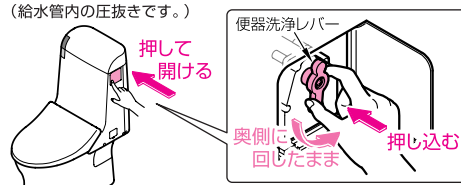
凍結のおそれがあるときの処置

次の手順で水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。

- 1 止水栓を閉めて（または水抜栓を開けて）給水を止める
【止水栓の場合】 【水抜栓の場合】



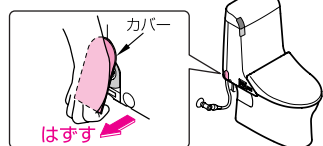
- 2 本体右側のふたを押して開け、便器洗浄レバーを奥側に止まるまで回したまま押し込んでロックする（給水管内の圧抜きです。）



- 3 配管の水を抜く

- ①リモコンの「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す（製品内部の残水を抜きます。）

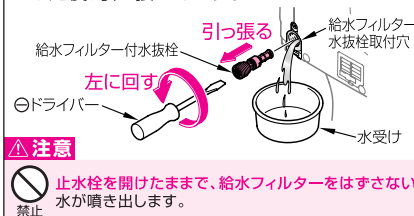
- ②カバーの下を図のように持って、カバーをはずす



- ④もう一度、リモコンの「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す

- ⑤給水フィルター付水抜栓を押し込みΘドライバーで確実に締め込む
押し込む
右に回す

- ③給水フィルター付水抜栓をΘドライバーでゆるめた後、引っ張ってはずす

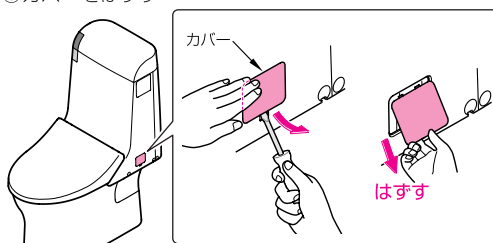


- ⑥カバー上部の突起を本体に差し込み、「カチッ」と音がするまで、カバーを押し込む



- 4 ウォシュレット内の水を抜く

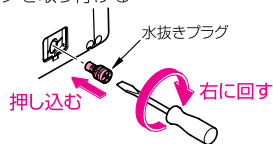
- ①カバーをはずす



- ②水抜きプラグをはずして本体内の水を抜く



- ③水抜きプラグを取り付ける



- ④カバーを取り付ける
突起を本体に差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



- 5 電源プラグを抜く

- 6 便器内の溜水を処置する

TOTO

施工説明書

ウォシュレット®

一体形便器Z1・Z2・Z3・Z4・Z5

CES9052型・CES9062型・CES9082型・CES9092型

工事店様へ

- 取扱説明書最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- オートフレグランスセット（Z4・Z5のみ）は、必ずお客様にお渡しください。
- サウンドリモコン（Z5のみ）は乾電池、ACアダプターのどちらでも使用できます。事前にお客様がどちらを選ばれるか確認してください。
- サウンドリモコンで使用しない乾電池またはACアダプターは、工事完了後、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。

はじめに	2
安全に関するご注意	2
取り付け前のご注意	3
同梱部品	4
各部のなまえ	4
施工手順	5

1 止水栓を取り付ける	5
2 便器を取り付ける	6
3 ウォシュレット本体を取り付ける	6
4 ケースふたを取り付ける	8
5 給水ホースを取り付ける	9
6 ロータンクの水量調節をする	11
7 便器部サイドパネルを取り付ける	13
8 アース線を接続する	13
9 電源プラグを接続する	13
10 リモコンを取り付ける	14

試運転	16
給水フィルターの掃除	19
凍結のおそれがあるときの処置 裏表紙	



◆“ウォシュレット”はTOTOの登録商標です。

はじめに

施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。

安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください！

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。

注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。

【絵表示の例】 してはいけない「禁止」の内容です。 必ず実行していただく「強制」の内容です。

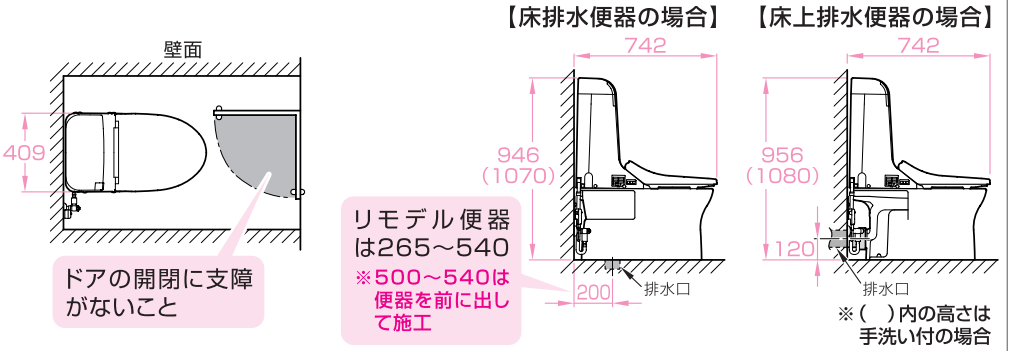
警告

	浴室など湿気の多い場所には設置しない 火災や感電の原因になります。
	交流100V以外では使用しない 火災や感電の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない 火災や感電の原因になります。
	水道水及び飲用可能な井戸水（地下水）以外は使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因になります。
	電源プラグは根元まで確実に差し込む プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。
	アース（D種接地）工事を確実に行う アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。

注意

	便座・便ふたを持って製品を持ち上げない 本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。
	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない 水漏れの原因になります。
	止水栓を開けたまま給水フィルター付水抜栓をはずさない 水が噴き出します。
	施工は施工説明書に従って確実にを行う 正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。
	給水フィルター付水抜栓は確実に締める 確実に締めないと水漏れの原因になります。

取り付け前のご注意



① 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。

② ドアの開閉に支障がないことを確認してください。

③ 下表の電力に適した配線をしているか確認してください。

電 源	定格消費電力	
交流100V (50/60Hz)	Z1	302W (水抜方式:304W、ヒータ付便器:340W)
	Z2・Z3	414W (水抜方式:416W、ヒータ付便器:452W)
	Z4・Z5	450W (水抜方式:452W、ヒータ付便器:488W)

④ 電源コードの長さは約1mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。

⑤ 給水圧力範囲は0.05MPa（流動圧）～0.75MPa（静止圧）です。この圧力範囲でご使用ください。

⑥ 給水温度は0～35℃です。この温度範囲でご使用ください。

⑦ 同梱以外の給水ホース、止水栓を使わないでください。

⑧ サウンドリモコン同梱のACアダプターコードの長さは約2.8mです。コンセントはこの長さに適した位置に設置してください。

総合セット品番

C E S ☐ ☐ ☐ 2 ☐ ☐ ☐ ☐ ☐

機 種		便器タイプ		手洗いの有無		タンク金具+給水金具		機種の見分け	
記号	タイプ	記号	タイプ	記号	タイプ	記号	タイプ	記号	タイプ
905	Z1	なし	防露	なし	手洗いなし	なし	寒冷地用 + 止水栓（ヒータ付・水抜方式）	なし	—
906	Z2	H	防露ヒータ	L	手洗い付	E	一般地 + 止水栓	Y	Z5 （サウンドリモコン）
908	Z3	M	防露リモデル			G	寒冷地用 + 止水栓（水抜方式）		
909	Z4・Z5	P	防露P排水			F	寒冷地用 + 止水栓（流動方式）		
		HM	ヒータ付防露 リモデル						